



芝小だより

第一月号

発行所 港区立芝小学校
〒105-0014
港区芝 2-21-3
[TEL:03-3456-3072](tel:03-3456-3072)
[FAX:03-3456-3071](tel:03-3456-3071)



「価値」に対峙し、多様性を認めながら

「特別の教科 道徳」への挑戦

校長 齋藤幸之介

新年、あけましておめでとうございます。旧年中は多方面に亘る御理解と御協力を賜り、誠にありがとうございました。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

本日より始まりました三学期は、本日を入れて五年生が五十七日、他の学年は五十六日の登校となります。決して長い時間ではありませんが、進級・進学に向けての具体的な目標を定め、確実に成果を上げるべく地道にかつ淡々と教育活動を行ってまいります。

「あなたが保護者なら、どうするか」

六年生の道徳の授業場面から

六年生は昨年の十一月に、三田中学校・赤羽小学校・御田小学校・赤羽幼稚園の教員に道徳の授業を公開しました。主題は「かけがえのない命」でした。人間の誕生の喜びや死の重み、限りのある生命を懸命に生きる尊厳を中心に扱った学習でした。授業で活用した文章資料の主人公である加藤秋雪君はダウン症候群として生まれ、心内臓症欠損症と肺高血圧症とも診断されました。服薬を始めとする日々の生活における制約等はとても厳しいものであった、と述べられています。

授業は、以前秋雪君が出ていた生命保険会社のCMを視聴するところから始まりました。最後は、海水浴に行ったときの、お父様の優しい胸元に抱かれた五歳の秋雪君の姿で締めくくられています。

子供たちは、文章資料から、御両親の秋雪君誕生のときの喜びと障害や病気を告知されたときの衝撃、小さい体で必死に生きる秋雪君の生命力の素晴らしさ、冬の谷川岳へのドライブに行ったときの喜びとその後インフルエンザに罹ったときの危機的な状況、そして、海水浴での秋雪君の姿を読み取っていきます。このとき、子供たちはすでに生命の素晴らしさとはかなさに気付いていた、と言えましょう。

この後、子供たちは授業の中心テーマである「あなたが秋雪君の保護者なら、谷川岳や海水浴に連れて行きますか？」を追求していきます。秋雪君に様々な経験をさせたいといった立場から「連れて行く」と考えた子、反対に、いつ、何があるかわからない、連れて行かなければもう少し長く生きられたかもしれない、と考えて「連れて行かない」という立場に立った子が、時に迷いながら考えを徐々に深めていきます。「何かあったらどうするの?」「何も経験させないなら、かわいそうだと思いませんか?」「でも、長く生きられたのではないですか?」「思い出を作ろうと思わない?」という議論からは、決して一つにはまとめられない「結論」を自分なりに見いだそうとする気迫さえ感じました。

最後の子供たちのまとめは多様性に富んでいました。保護者の苦悩や秋雪君の気持ちから考える子、いずれの選択をも尊重する子、保護者が子供たちの人生を満足させる意味をまとめる子、そして、「私たちは当たり前前に生きているわけではない」「ことや」「自分の命を大切にしていこう」と、自分へ引き寄せて考える子、と、子供たちは多様な見方をしていて感激をしました。そして、子供たちのこの姿こそ、道徳教育の可能性を示してくれていると思っております。

「特別な教科 道徳」の目指す姿

今までの道徳教育には、例えばその授業において「読み物の登場人物の心情理解のみに偏った形式的な指導が行われる例がある」といった課題があるとされています。学習指導要領に示された道徳教育の内容に迫ろうとするが故の課題とも言えます。これを解決すべく、答えが一つではない道徳的な課題を一人一人が自分自身の問題として捉え、向き合う「考える道徳」、議論する道徳へと転換を図ったものが「特別の教科 道徳」であるとされます。つまり、子供たちが価値に対峙し、また、友達には様々な見方や考え、価値観があることを認めながら、自分なりに考え続ける姿を求めていくことが大切であると考えますが、いかがでしょうか。

私共が挑戦する場としての「道徳授業地区公開講座」

本年度は一月二十日(土)に道徳授業地区公開講座を行います。皆様には、私共の道徳の授業を御参観いただき、本校の道徳教育についての評価をしていただければと思っております。私共は、今回が「特別の教科 道徳」の本校ならではの特色を示すためのよき挑戦の場と捉えています。正直まだ十分ではないところがありますが、特に、教材の提示、発問、話し合い、動作化・役割演技といった手立てからいくつかを選択し、授業の中に具体的に位置付けていきます。詳細については、後日配布いたします「道徳地区公開講座 参観のしおり」をお読みいただければ幸いです。

また、当日は埼玉学園大学大学院教授 藤枝静暁先生にお越しいただきます。お忙しいとは存じますが、万障お繰り合わせの上お越しくださいますよう、お願い申し上げます。

(参考文献等)「たったひとつのたからもの」(加藤浩美)「かがやけ

い」(五年)「学校図書」「小学校学習指導要領解説 道徳の教科 道徳編」

(文部科学省)